

南島原市ニュース

令和5年10月27日

タイトル 南島原市防災訓練を開催

市民を対象に「自分たちが住む地域の危険性を知り、対応策を考える」ことを目的に災害の歴史、危険な地域の状況とその対処法、住民による応急手当、初期消火などの防災訓練を実施します。

■日時 10月29日（日） 午前8時30分～午後0時15分

■場所 加津佐グラウンドおよび加津佐B&G海洋センター
（加津佐町丁1番地1）

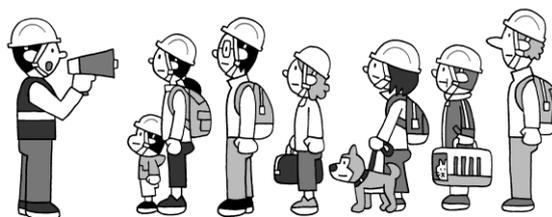
■参加団体（順不同）

加津佐地区町内会、気象庁 長崎地方気象台、国土交通省九州整備局雲仙砂防管理センター、島原地域市町村圏組合南島原消防署・口之津分署、南島原市社会福祉協議会、（株）ドコモCS九州長崎支店、南島原市消防団加津佐地区団

※詳細は添付資料をご参照ください。

担当部署	総務部防災課	担当者	松島弘明
直通	0957-73-6622	E mail	bousaikoutsuu@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは <small>☎</small>		検索ワード	
担当者 連絡先			

令和5年度南島原市防災訓練実施要綱 (加津佐地区)



令和5年度南島原市防災訓練実施要綱(加津佐地区)

1 目的

市民を対象に、「自分たちが住む地域の危険性を知り、対応策を考える」という事を目的に、災害の歴史、危険な地域の状況とその対処法、住民による応急手当、初期消火などについて習得していただき、防災意識の啓発を図る。

2 主催 南島原市

3 参加団体

加津佐地区町内会、気象庁長崎气象台、国土交通省九州整備局雲仙砂防管理センター、島原地域市町村圏組合南島原消防署・口之津分署、南島原市消防団加津佐地区団、南島原市社会福祉協議会、株式会社ドコモ CS 九州長崎支店

4 実施日及び訓練場所 (訓練時間 8:30~12:15)

- ・ 令和5年10月29日(日) 加津佐グラウンド及び加津佐B&G海洋センター
(加津佐町丁1番地1)

※ 雨天時の対応・・・少雨では12項「雨天時の訓練内容について」に基づき訓練を実施しますが、大雨等が予想される場合は、訓練当日午前6時に判断し、午前7:00に各関係機関へ中止の連絡および防災無線により訓練参加者へ中止の放送を行い周知を図る。

5 訓練参加者 総員 260名

- ・ 訓練対象者 地域住民150名 (各自治会から3名を選出し参加をしていただく。)
南島原市職員 (令和元年度以降採用者) 50名
- ・ 南島原市役所職員 及び関係機関 60名

6 訓練想定

令和5年10月29日午前8時30分頃、橘湾を震源とするマグニチュード7.0と推定される震度6強の地震発生により、津波襲来を想定し住民の避難行動や避難所開設訓練等を実施する。

7 訓練内容

防災無線により8時30分「訓練 訓練、橘湾において地震が発生しました、津波の恐れがあります、直ちに安全な場所へ避難してください。これは防災訓練です。」と放送し訓練を開始する。

(1) 避難所開設訓練(8:30~8:55)

※ 訓練参加者は、避難所受付訓練を8:30から開始しますので、事前に配布しています避難者受付カードを持参のうえ加津佐B&G海洋センター体育館玄関から入って受付を行う。

避難所受付終了者に対し、開会式までの待ち時間を利用し非常食についての説明を行い理解を深めていただく。

- (2) 開会式 (9:00~9:15)
- ・ 市長挨拶
 - ・ 消防署長挨拶
 - ・ 訓練概要説明・・・その後一旦開会式を閉式し、引き続き防災講話に移る。
※ 地域住民の方については、椅子に着座した状態で行います。

- (3) 防災講話(9:20 ~9:50)
- ・ 気象庁長崎气象台より「地震・津波について」の講話を実施する。

- (4) 各種訓練(9:55 ~11:55)
- ①初期消火訓練、②家屋倒壊救出訓練、③津波実験及び降雨体験、④AED訓練
 - ⑤各種展示(社会福祉協議会・NTTドコモ・防災資器材)を5班の班編成で実施する。
なお、自治会参加者とは別に、南島原市職員約50名を対象に、土のう積訓練及びロープ結索訓練を行う。

- (5) 閉会式(12:05~12:15)
- 危機管理監 訓練講評

8 防災訓練種目について

- (1) 避難所開設訓練(8:30~8:55) 【開会式前に訓練を実施する】(担当者8名)
- 各支所及び避難所担当職員により避難所を開設し、避難してくる住民の受付業務を行う。
- (2) 島原半島における地震及び津波について(9:20~9:50)・・・気象庁長崎气象台
- 令和4年10月産業技術総合研究所から、島原半島南東部の沖合において、30年以内にマグニチュード7.1程度の地震が発生する可能性があると試算結果が発表され、有事に備えるため、講話をお願いします。
- (3) 初期消火訓練・・・南島原消防署口之津分署(担当者口之津分署2名、市職員2名)
- 火災が発生した時初期の段階で行う消火訓練であり、炎が天井まで届く以前の段階までが有効です。粉末消火器や水消火訓練器を使用し消火をスムーズに出来るよう訓練を行う。
- (4) AED訓練・・・南島原消防署口之津分署((担当者口之津分署3名、女性団員3名)
- 心肺停止の可能性のある方は、1秒でも早い救命処置が必要なため、AEDの必要性及びその対処法について訓練を行う
- (5) 家屋倒壊救出訓練・・・南島原消防署・・・(担当者南島原消防署2名)
- 簡易救助費器材を使用した救助方法を実施する。
- 大地震が発生した後には、建物の倒壊や家具などの転倒により、多くの方が救助を必要とする事態が発生します。人々が協力して、バールやのこぎり、車のジャッキなど身近にあるものを使って救助・救出活動を行う訓練を実施する。
- (6) 津波発生装置によるメカニズムの説明・・・気象庁長崎地方气象台(担当者3名)
- 海底の地殻変動により海面が上下することで、津波が発生する仕組みを解りやすく解説していただきます
- (7) 降雨体験車・・・国土交通省九州地方整備局雲仙砂防管理センター(担当者4名)
- 降雨体験機「ふるぞう君」は、時間雨量10ミリから180ミリまでの雨を体験することが

出来る。長崎大水害では1時間に187ミリの豪雨を記録しましたが、この体験機は長崎大水害の様な豪雨体験が出来ます。

(8) 展示について

ア 防災用品展示 避難所運営で使用する防災用品の展示

パック式トイレや、ベッドの組み立て、防災非常食、非常用照明、電気自動車からの給電展示(パワームーバー)などの展示を実施する。

イ 南島原市社会福祉協議会によりボランティアセンターのPR活動を実施する。

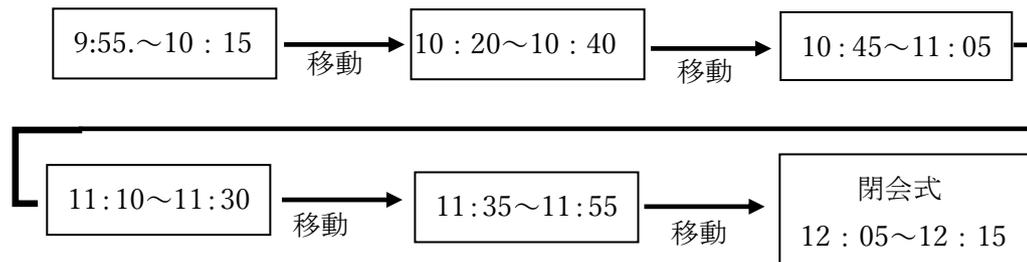
ウ 株式会社ドコモ CS 九州長崎支店 災害時の無料 Wi-Fi や携帯充電サービスなどの展示や防災冊子などの配布を行う。

9 市職員によるロープ結索訓練及び土のう積訓練・・・南島原消防署口之津分署(担当者1名)
災害時に役立ち、知っておくと便利なロープ結索訓練で「本結び、一重つなぎ、二重つなぎ、巻き結び、もやい結び、ふた回りふた結び」などの基本訓練を実施する。

次に水害による被害を軽減するために、日常では体験できない土のう袋の作り方を基本とする、簡単な土のう積訓練を行い技能の習得に繋げる。

10 各種訓練タイムスケジュール

(1) 加津佐地区在住者



1班 ①消火訓練 ②救出訓練 ③津波実験及び降雨体験 ④AED訓練 ⑤社協、NTT、防災

2班 ②救出訓練 ③津波実験及び降雨体験 ④AED訓練 ⑤社協、NTT、防災 ①消火訓練

3班 ③津波実験及び降雨体験 ④AED訓練 ⑤社協、NTT、防災 ①消火訓練 ②救出訓練

4班 ④AED訓練 ⑤社協、NTT、防災 ①消火訓練 ②救出訓練 ③津波実験及び降雨体験

5班 ⑤社協、NTT、防災 ①消火訓練 ②救出訓練 ③津波実験及び降雨体験 ④AED訓練

※ 加津佐地区消防団員(各班2名、班名を入れたビブスを着用)により、訓練参加者の誘導を行い訓練を実施する。

※ 各訓練所要時間を20分とし、各班の移動はIP無線により各班誘導員へ指示を行う。

なお、③津波実験及び降雨体験については、班員を半数に分け、10分間交代で移動するよう誘導をお願いします。

(2) 南島原市職員 訓練は、ロープ結索訓練及び土のう積訓練を実施する。

訓練時間 10:00~10:50 ➡休憩 10:50~11:00➡訓練 11:00~11:50➡閉会式 12:05

11 その他

訓練参加者へ景品として非常食料品や防災グッズ等を渡すように計画しています。

1 2 雨天時の訓練内容について

- (1) 初期消火訓練・・・南島原消防署口之津分署

体育館北東側で、消火器の取り扱い方や、ビデオ放映等を用い消火器の使用方法について説明する。

準備品 パソコン、プロゼクター、スクリーン、延長コード、長机1脚

- (2) AED訓練・・・南島原消防署・口之津分署

変更なし

- (3) 家屋倒壊救出訓練・・・南島原消防署

体育館北西側に角材（柱）を重ねて配置し、倒壊家屋とみなし訓練を行う。

準備品 角材10本、バール1本、 ジャッキ（パンタ式、油圧式）、固定用木材
ブルーシート 10m×10m 2枚

- (4) 津波発生装置によるメカニズムの説明・・・ 気象庁長崎地方气象台

変更なし

- (5) 降雨体験車・・・国土交通省九州地方整備局雲仙砂防管理センター

変更なし

- (6) 市職員による土のう積み訓練及びロープ結索訓練

武道場南西側において、土のう積み訓練及びロープ結索訓練を実施する。

・土のう積み訓練 …… 土のうを事前に10袋準備しておき、土のう積み方法を指導する。

・ロープ結索訓練 …… パイプガードを用い訓練する。

準備品・・・

土のう積み……ブルーシート 10m×10m 2枚、土のう10袋（砂をビニール袋に入る）

鉄筋2本、

ロープ結索訓練……パイプガード4m×4組、結索ロープ2m×30本

※ 訓練の時間配分については、指導者に一任し、2項目の訓練終了後は、各訓練ブースへ行き見学を実施する。

- (7) 防災用品展示

変更なし